
サンレモ会議

ユダヤ人のナショナルホームの法的基盤

2022年5月9日 恵比寿マンデー

1920年4月19日～26日 イタリアのサンレモ



歴史的経緯

1914～1918年 第一次世界大戦

1917年 英国政府によるバルフォア宣言

* パレスチナにユダヤ人のナショナルホームを作る

* 既にその地に住んでいるユダヤ人以外のコミュニティの人々の市民権や宗教的権利を守る

注「パレスチナ」約束の地という意味
ンデーの資料 参照

2020/8/3 マ

第一次世界大戦終盤 パレスチナを支配していたオスマントルコを英国が撃破して勝利

勝利国としてパレスチナの土地を自国領に編入することも出来たが、ロイド・ジョージ内閣は この地をユダヤ人のナショナルホームにする意向を宣言

* 1919年パリ講和会議 英、仏、米が主導権を持ち、第一次世界大戦後の国際秩序を協議

* アラブ諸国とシオニスト機関 双方の意見反映

* 1920年サンレモ会議 戦勝国 英、仏、伊、日でユダヤ人のナショナルホーム建設に合意。オブザーバー参加の米も合意

法的整備の進展

1920年 セーブル条約の成立で サンレモ決議の内容が国際法へ 英国による委任統治

1922年 国際連盟で承認(1920年に設立)

1923年 ローザンヌ条約発効 (法律としての効力)

サンレモ会議の意義

- * バルフォア宣言が 英国だけの方針ではなく 国際的に承認された
- * イスラエル建国への重要な下地が作られた
- * ホロコースト以前の出来事 罪悪感による動きではない

* ユダヤ人とイスラエルの地の3千年以上に及ぶ歴史的つながりを 国際社会が 認めたことを反映

* 2012年4月25日 日本の国会でサンレモ決議セミナー開催。前日に国会図書館で サンレモ会議に係る日本語オリジナル文書 発見

“わたしは、あなたを祝福する者を祝福し、あなたを呪う者をのろう。” 創世記12:3